

ナクライト隕石のマグマからの結晶化過程：実験との比較

The crystallization from the intercumulus melts of nakhlites: In comparison with those of experiments

今栄 直也 [1]; 池田 幸雄 [2]

Naoya Imae[1]; Yukio Ikeda[2]

[1] 極地研・南隕セ; [2] 茨大・理

[1] AMRC, NIPR; [2] Dept. of Sci., Ibaraki Univ

ナクライトは火星を由来とする単斜輝石岩に分類される火成沈積岩である。ナクライトはマグマ溜まりで沈積鉱物集積後に溶岩流やシルの中で固結したと考えられる（例えば Imae et al., 2005）。我々は考えられる親マグマ組成を用いて等温および冷却実験を行なった (Imae, 2004)。加えて、南極の2つの異なる地域で採集されたやまとナクライトおよび MIL 03346 ナクライトを調べ、質量保存計算に基づき両者の親マグマ組成を決定した (Imae and Ikeda, 2005)。最近、我々はそれらの親マグマ組成からメソスタシスに至る結晶化過程を質量保存計算に基づき評価した。ここでは、これまでの実験結果を評価した2つのナクライトの結晶化過程と比較する。

引用文献

N. Imae 2004: Phase equilibrium experiments of the parent magma formed nakhlites. *Meteoritics and Planetary Science* 39. A49.

N. Imae and Y. Ikeda 2005: Comparative petrology of Yamato and MIL 03346 nakhlites. *Meteoritics and Planetary Science* 40. A72.

N. Imae, Y. Ikeda, H. Kojima 2005: Petrology of the Yamato nakhlites. *Meteoritics and Planetary Science* 40: 1581-1598.